

殺虫剤工業会

40周年記念式典

環境に配慮した製品作り促進

来賓を代表して挨拶する  
全卸連・森友会長



住友化学の福林憲二  
郎専務の来賓挨拶に  
続き、全国化粧品日  
用品卸連合会の森友  
徳兵衛会長(森友通  
商社長)が乾杯を発  
声。「我々、日用品雑  
貨の卸業界において  
殺虫剤はメインの商  
品。これからも業界を  
活性化させていきたい」と  
意気込みを語った。

日本家庭用殺虫剤工  
業会は6月16日午後4  
時30分より、京都市東  
山区のウエスティン都  
ホテル京都で創立40周  
年記念行事を開催し  
た。

まず、電通総研の大  
屋洋子ヒューマン・イ  
ンサイト研究部主任研  
究員を講師に迎え、  
『いま』を読みとく  
キーワード『ホメ』  
『ダケ』、そして『タ

プル志向や、ほめら  
れたい願望の高まりな  
どが生活者に見られる  
ことを指摘。さらに東  
日本大震災をきっかけ  
として「他者の『た  
め』に役立ちたい、助  
けたいという欲求が高  
まってきている」と分  
析した。

最先端を走る国内殺虫  
剤産業の開発力、技術  
力などを披露。「これか  
らも殺虫剤を安全に正  
しく使っていたく知  
識の普及、環境に配慮  
した製品を作るとい  
うことを活動の中心とし  
て続けていく」と宣言  
した。



メ』を  
実施。大屋主任  
研究員はさま  
ざまな生活環  
境の変化によ  
り、これだけ  
け、あればい  
いというシン

その後に行われた記  
念パーティーでは上山  
直英会長(大日本除虫  
菊社長)が開会の挨拶  
を行い、同会の歴史や

大阪府の山本繁富健  
康福祉部業務課課長と

会長(アース製薬社  
長)が「今後も世界に  
誇れる殺虫剤を開発し  
て皆様方の健康・安全  
快適な暮らしをサポート  
していきたい」とお  
礼の挨拶を述べ、散会  
となった。

業界の技術力を語る上山会長